決算等審査特別

議長を除く全議員で構成する
決算等審査特別委員会で
決算議案を審査



保育サービス推進や母子保健事業の充実で、さらなる子育て環境整備を図った。

問　**待機児童対策や、保育士の配置など、保育所の体制整備に、どのように取り組んだのか聞きたい。**

答　市全体では、申込数を上回る定員を確保している。また、本市は国の保育士配置基準を上回る園に運営費の加算を行っており、7年度もすべての園に加算を行ったことから、子どもたちの保育に必要な体制を確保できたと考えている。

問　**産後ケアについて、7年度は委託先を市外の医療機関等にも拡充し、利用者数も増えたが市の評価は。**

答　隣接市への委託先拡充により利便性が向上し、利用者の選択肢も広がった。また、利用時の事前申請を廃止し、すべての妊婦が対象の面談で、産後ケアの利用券を渡したことにより、必要な方に支援が届きやすい環境整備が進んだと評価している。今後も、受け入れ先のさらなる拡大に努めていく。

子育てしやすいまちづくりに向けた支援は



母親・赤ちゃんのケアや育児相談を行う産後ケア

法に基づき、各種予防接種を実施し、感染症のまん延・発病の防止等に努めた。

問　**子宮頸(けい)がんワクチンのキャッチアップ接種※が8年3月で終了したが、その結果をどのように捉えているのか。**

答　4年度から7年度まで実施したキャッチアップ接種完了率は、約4割となっている。接種機会を逃した方に対し、接種機会を確保できたことから、子宮頸がん予防の推進に、一定の成果があったと認識している。一方で、対象者全員への接種には至っていないことから、今後も、国の方針を踏まえながら、ワクチンの有効性や、安全性に関する適切な情報提供に努めていく。

キャッチアップ接種の終了を受けて

市民団体への支援や人材育成等を行い、市民主体のまちなか緑化推進を図った。

問　**まちなか緑化事業の特徴について聞きたい。**

答　本事業は、公共的な場所への花壇制作を学ぶ講座を通じて、人材育成に重点を置いていることが特徴である。講座を修了した市民ボランティアが制作した質の高い花壇は、まちの景観づくりに貢献しており、コミュニティ形成等にも効果があると考えている。

問　**本事業の7年度の取り組み内容は。**

答　戸吹スポーツ公園において、新たに市民団体による花壇整備活動への支援を開始したほか、市内高齢者施設の敷地内での、認知症普及啓発カラーのオレンジ色を取り入れた花壇制作への支援も行った。

まちのみどりの創出に向けて



まちなか緑化事業で市民ボランティアにより整備された花壇

高齢者等の住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居促進を図った。

問　**住宅確保要配慮者の賃貸住宅入居への促進には、民間賃貸住宅を増やすことが必要と考えるが、どのように取り組んだのか。**

答　7年度は低廉な家賃で入居できる家賃補助対象住宅の登録募集を2回行い、民間賃貸住宅等を新たに13戸登録したほか、住宅改修費の補助などを行った。

問　**7年10月の住宅セーフティネット法改正で新たに示された、居住サポート住宅について、福祉所管と連携した取り組みは。**

答　居住サポート住宅の制度開始に先立ち、福祉所管と複数回協議を行い、周知方法や事務手続きなどの準備を進めてきた。また、庁内連携の強化を図るため、横断的な検討を行える体制を整えている。

居住支援の取り組みは

※積極的な勧奨を差し控えていた期間に子宮頸がんワクチンの定期接種の対象であった方に、無償で実施する接種